

ラーゲリからのメッセージ シベリア抑留の記憶をつなぐ

● 2023年
2月22日(水)
～3月5日(日)

● 10時～20時
・2/22は12時から
・日曜日・祝日は18時30分まで

● 入場無料

● KITTE 地下1階
東京シティアイ
パフォーマンスゾーン



KITTE (東京都千代田区丸の内二丁目7番2号) アクセス



- ・JR 東京駅 丸の内南口より 徒歩約1分
- ・JR 京葉線東京駅 徒歩約3分
- ・JR 有楽町駅 徒歩約6分
- ・丸の内線東京駅 地下道直結
- ・千代田線二重橋前<丸の内>駅 徒歩約2分
- ・有楽町線有楽町駅 徒歩約6分
- ・都営三田線大手町駅 徒歩約4分



舞鶴引揚記念館について

第二次世界大戦後、旧ソ連に抑留された人々と外地からの引き揚げの労苦を伝える資料館として、抑留体験者などを中心に全国の方々からの寄附を受け昭和63年(1988)に設立されました。舞鶴へ上陸を果たした引揚者およそ66万人のうち7割がシベリアからの生還者でした。館内の展示には、シベリアから日本の家族へ送られたはがきや日誌などが展示されています。平成27年(2015)には収蔵資料の中から570点がユネスコ世界記憶遺産に登録されました。

京都府舞鶴市字平 1584 番地 引揚記念公園内
<https://m-hikiage-museum.jp> →



収容所 ラーゲリからのメッセージ シベリア抑留の記憶をつなぐ

昨年末に公開された映画『ラーゲリより愛を込めて』で描かれたシベリア抑留。多くの抑留者を迎えた舞鶴にある舞鶴引揚記念館から発信する出張展示です。

「岸壁の母」が息子に宛てた葉書、つらい抑留生活を和歌に綴った「白樺日誌」、抑留体験画など舞鶴引揚記念館が所蔵する「ユネスコ世界記憶遺産」登録資料を中心に紹介します。

白樺日誌



スケッチブック

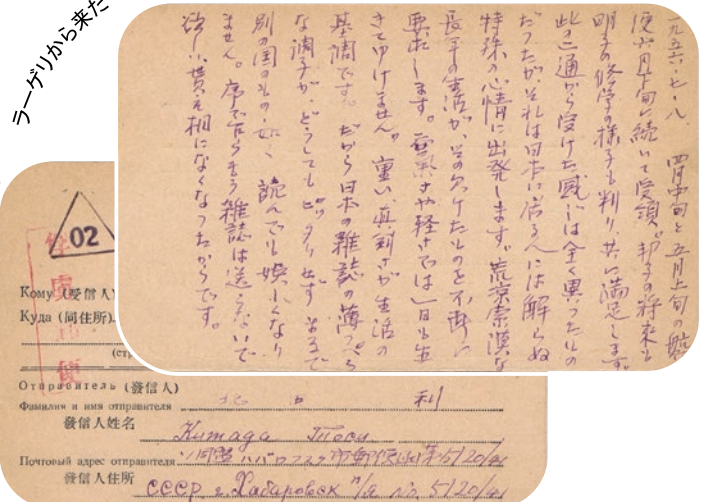
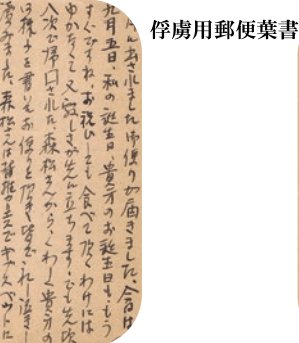
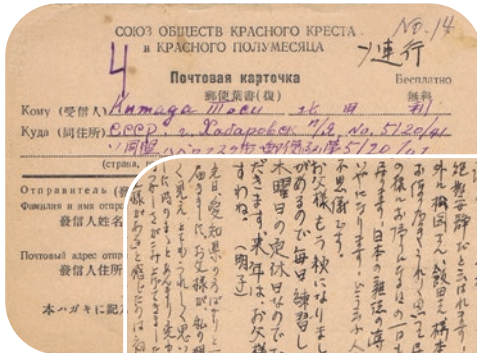


回想記録画 (木内信夫 画)



ラーゲリへ送った「メッセージ」

ラーゲリから来た「メッセージ」



共催



収容所で抑留者が手作りした白樺の食器

飢えに耐えかねた抑留者が袖の部分とパンを交換したコート



平和祈念展示資料館所蔵の資料もご覧いただけます。

平和祈念展示資料館 (総務省委託)

東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 33 階
 TEL 03-5323-8709 <https://www.heiwakinen.go.jp> →

